

## 防災フォーラム in 太白を開催しました(2016/8/4)

テーマ：防災教育，地域防災，仙台市地域防災リーダー（SBL），学校と家庭・地域との連携  
場所：仙台市太白区文化センター「楽楽楽ホール」

8月4日（火），仙台市太白区文化センター「楽楽楽ホール」において，災害科学国際研究所防災教育国際協働センターが主催機関の一つとして「防災フォーラム in 太白～熊本地震から学ぶこと・私たちにできること～」を開催しました。当日の参加者は，仙台市太白区内の小中学校の管理職や防災主任の先生方をはじめ，PTA，町内会，教育委員会関係者など，約250名の方が参加しました。災害科学国際研究所からは，佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）が企画準備段階から関わり，当日はパネルディスカッションのコーディネーターも担当しました。

本フォーラムでは，2人の講師からの特別講演が行われました。1人目の講師は，日本赤十字社宮城県支部の菅原清悦氏であり，「災害救護と復興支援」と題し，熊本地震の支援活動や日本赤十字社で展開されている防災教育の実践事例などが紹介されました。2人目の講師である南材地区町内会連合会の菅井茂会長は，「地域防災を再点検する～南材地区総合防災訓練をとおして～」と題し，東日本大震災発生時の南材地区の震災対応の経験や震災後に展開されている八軒中学校の学校と地域とが連携した総合防災訓練に関する先進事例を講演されました。

また，パネルディスカッションでは，「熊本地震から学ぶこと・私たちにできること」をテーマに，特別講演の2人の講師に加えて，太白区役所保健福祉センター管理課の奈良法志人氏，仙台市立長町南小学校PTAの安田善一会長，仙台市立長町小学校の志賀洋仁教諭の5名がパネリストになりました。それぞれの立場や経験に基づいて，学校・家庭・地域と連携した防災の取り組みなどの私たちに残されている推進課題について，また熊本地震の被害や対応の状況から私たちが改めて学ぶべきことなどについての議論が展開されました。

さらに，当日のフォーラムでは，仙台市立長町中学校の合唱部による復興ソング「仲間とともに」の合唱や，長町中学校の生徒と鹿野小学校の児童による防災学習の取組の発表も行われました。フォーラム全体を通して，今後の地域ぐるみによる防災教育を推進していく上で関係者間の共通理解を得る貴重な機会となりました。



写真左から，長町中学校合唱部のオープニング合唱，講師の菅原清悦氏，講師の菅井茂氏，会場のようす

文責：佐藤健（情報管理・社会連携部門）